



のびのび通信



NO. 8 甲賀市発達支援課
TEL : 0748-69-2178

のびのび通信12月号は言語聴覚士からお伝えするシリーズの3回目です。今回は、「コミュニケーション」についてお伝えします。

コミュニケーションって何？

「人間が互いに、意思、感情、思考を伝達し合うこと」(デジタル大辞泉より) ことばやことば以外の手段を使って、人と人が交流し、理解を深めることです。

『ことばのキャッチボール』ということばを聞いたことがありますか。会話はキャッチボールと同じで、聞き手、話し手の相互作用です。子どもの発達レベルに合わせてやりとりが続くようなかかわりが大切です。そのようなかわり方の一つに『インリアル』という考え方があります。

◎インリアルとは？

子どもの主体性を大切に、子どもが自分から遊びやコミュニケーションを始める力(主導権)を持つことを目標としています。インリアルでは大人がとるべき基本姿勢と7つのかわり方が示されています。

大人がとるべき基本姿勢

遊びの中で・・・

- ◎子どもを静かに見守り、
- ◎子どもの興味や遊びを観察し、
- ◎子どもの気持ちや発達レベルを理解し、
- ◎子どもが言おうとしていることに心から耳を傾ける

7つのかわり方～ことばがけのヒント～

1. 子どもの行動をまねてみる (ミラリング)



2. 子どもの発声、ことばをまねてみる (モニタリング)



3. 子どもの行動や気持ちをことばで言ってあげる (パラレルトーク)



4. 大人が自分の行動や気持ちを口にする (セルフトーク)



5. 間違えたことばを否定しないでさりげなく直す (リフレクション)



6. 子どものことばを広げて返す (エクспанション)



7. 子どもに新しいことばのモデルを示す (モデリング)



私たち大人も子どもと一緒に遊びを楽しみ、子どもの気持ちに沿ったことばをかけていくことで、豊かなコミュニケーションが生まれていきます。子どもたちが「話すことが楽しい」と感じ、自分の気持ちを表現できることを目指して、サポートしていきましょう。

今月のあそび

毎月、家庭でできる遊びを紹介します。



今回のあそびアイテム ふうせん



これから寒くなり、室内で遊ぶことも増えると思います。そんな時に風船を使った遊びはいかがでしょう。風船バレーや、うちわを使った風船はねつきも楽しいですね。上下する風船を目で追ったり、落ちてくる風船に合わせて体を動かすことで、動くものを見る力や、目と体を協応させる力が養われます。

また、風船にひと手間加えると、弾むボールに大変身！室内で安全に風船ボール遊びを楽しむことができます。



『子どもの遊び
ポータルサイト
ミックスじゅーちゅ』
風船遊びまとめ



風船を膨ら
ます



結び目を隠すよ
うにビニールテ
ープを貼ってい
く



1 周巻い
たところ



8 周巻いて貼
っていく



真ん中に、横向
きに一周貼る



完成